

令和4年度会計 決算報告

(自:令和4年4月1日～至:令和5年3月31日)

《収入の部》 (単位:円)

科 目	令和3年度決算額	令和4年度決算額	増 減	備 考
会員会費	4,853,000	4,795,000	▲ 58,000	関信支部4,000円×685名 本部3,000円×685名
広告収入	320,000	320,000	0	広告掲載社数(20,000円×16社)
学会収入(広告・企業展示)	280,000	280,000	0	広告協賛社数(20,000円×8社)、企業展示社数(30,000×4社)
支部学会、研修会参加費収入	0	0	0	
雑収入	49	52	3	受け取り利子
前年度繰越金	4,212,201	4,655,881	443,680	
合計	9,665,250	10,050,933	385,683	

《支出の部》 (単位:円)

科 目 / 項 目	令和3年度決算額	令和4年度決算額	増 減	備 考
本部会費	2,073,000	2,055,000	▲ 18,000	3,000円×685名
事務費	178,054	182,218	4,164	
通信費	146,710	165,740	19,030	インターネット利用料(HP)・ポケットWi-Fi機種変更事務手数料・郵送費・切手など
消耗品費	24,654	3,848	▲ 20,806	封筒、ラベルシール、年賀はがき
手数料	6,690	12,630	5,940	振り込み手数料、硬貨料金
会議費	297,764	449,511	151,747	
常任理事会・部会	276,468	435,741	159,273	常任理事会、三役会、監査、役員推薦委員会
地区代表者会議	19,416	13,770	▲ 5,646	
諸会議費	1,880	0	▲ 1,880	
広報費	762,300	748,800	▲ 13,500	
ニュース印刷費	762,300	748,800	▲ 13,500	支部ニュース、第50回定期総会議案書
研修会費	568,862	440,484	▲ 128,378	
講師料・会場費	567,154	440,484	▲ 126,670	株式会社ブイキューブ Zoom年間契約料、研修会講師料
行動費	1,708	0	▲ 1,708	
地区会等関係費	6,500	14,816	8,316	
行動費	6,500	14,816	8,316	各地区会研修会・定期総会出席
地区会活動助成金	0	0	0	
学会運営費	1,122,889	2,168,746	1,045,857	
事務費	1,049,229	1,992,560	943,331	抄録集発行代、配信サポート(ブイキューブ)、支部表彰記念品など
謝礼等	35,530	103,980	68,450	クオカード
行動費	38,130	72,206	34,076	打ち合わせ・リハーサル、当日行動費、学会賞選考委員会
予備費	0	0	0	
合計	5,009,369	6,059,575	1,050,206	

増減＝令和4年度決算額－令和3年度決算額

収入額	支出額	次年度繰越金
10,050,933	- 6,059,575	= 3,991,358

令和 5 年 4 月 12 日

国立病院臨床検査技師協会

関信支部 支部長

吉田 茂久 殿

令和 4 年度 監査報告書

私たちは国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約第 17 条の規約に基づき、令和 4 年度(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)の国立病院臨床検査技師協会関信支部の会務活動ならびに会計の監査を行ったので次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- 1) 会務監査について、地区代表者会議(Web 会議)に出席し、理事からの会務報告及び地区代表者からの意見を聴取しました。また、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討し監査を実施しました。
- 2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討し監査を実施しました。

2. 監査結果

【令和 4 年度会務】

1) 事務局について

(1) 組織の充実・関係協議会との連携

Web を利用した各地区会定期総会・研修会へ支部役員が出席され「関信支部からのお知らせ」を中心に情報伝達および情報収集が行われていました。常任理事会は主に Web 会議で開催され、関東信越グループ臨床検査専門職の出席を賜り情報共有が行われていました。今年度は新たに各地区会単位で理事を選出して地区会との連携を図る取り組みを行っていました。また、国臨協全国支部長会議(Web 会議)への出席、国臨協本部常任理事会へ活動報告書を提出し情報の共有化を図るなど関係協議会との協力・連携も行われていました。

(2) 事務管理の向上

年 3 回の会員調査を行い、支部ニュースおよびホームページを用いて定期的に情報提供をされていました。また会員調査については国臨協本部へ情報提供されていました。

(3) 文化活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き合同交流会・ビアパーティーなどの行事が中止となりました。

2) 学術について

(1) 国臨協関信支部学会の開催

第 50 回関信支部記念学会は、「未来への跳躍～過去から学び未来へつなぐ～」をテーマとして多機能ブース型のイベントプラットフォーム「EventIn」を利用したライブ配信型で開催されました。28 題の一般演題、ランチョンセミナー(3 ブース)、特別講演、学術委員の超音波検査ライブデモンストレーションによる分科会、そして展示ブースなど、集合型の学会開催方法と遜色のない記念学会となっていま

した。スマートフォンからもアクセスできる環境が整えられており、より多くの会員が参加しやすくなるための配慮がされていました。

(2) 研修会の充実

学術委員会との連携がとられ、Web 形式オンデマンド配信による 3 回の研修会が開催され研修内容も工夫が見られました。

(3) その他

国立病院機構関東信越グループ主催研修会の令和 4 年度医療職(二)・福祉職キャリアアップ研修ではファシリテーターとして協力されていました。

3) 広報について

(1) 国臨協関信支部ニュース

紙媒体 4 回、PDF 版（人事異動）1 回が発行され、会員からの投稿記事掲載、情報発信等が行われていました。また、投稿や紹介などは若手技師を中心とした構成となっており親しみやすい紙面づくりへの工夫が見られました。

(2) 関信支部ホームページ

一部掲載が不十分だった情報も整えられて更新も適時行われていました。更新情報はそのつど施設連絡者宛にメール配信されホームページの認知度の向上に努めていました。また学会や研修会へのオンデマンド配信も整えられ、スマートフォンでの利用がしやすい環境も整備されていました。

4) その他

(1) 次年度以降の会務活動について

Web ツールも日々進化し様々な選択肢があるので費用対効果も含めて検討していただきたい。研修においては、内容や視聴環境の充実が図られているが参加者が伸びていないため研修が有効なものとなるよう参加者増加につながる対策をお願いしたい。理事の人数が増えた事もあり各理事が過度な負担を負う事のないような配慮をしていただきたい。

以上、令和 4 年度の会務活動状況は適正であり、理事の会務執行に関して不正な行為や規約違反などは無いことを認めます。

【令和 4 年度会計】

令和 4 年度会計に関する収入支出台帳をはじめ証拠書類・貯金通帳等については適正に執行され、令和 4 年度会計報告は関信支部の収支状況を正しく示しているものと認めます。

令和 5 年 4 月 12 日

監事

瀬下 明 

監事

小沼 進 

令和5年度 会計予算(案)
(自:令和5年4月1日～ 至:令和6年3月31日)

《収入の部》 (単位:円)

科 目	令和4年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度予算額	備考
会員会費	4,795,000	4,816,000	4,753,000	7,000円×679名(本部会費3,000円+支部会費4,000円) ※時限的減額対応(本部会費1,000円減額)
広告収入	320,000	320,000	320,000	広告掲載社数(20,000円×16社)※前年度実績
学会協賛等収入	280,000	320,000	200,000	広告掲載社数(20,000円×10社)※前年度実績
支部学会、研修会参加費収入	0	0	0	支部学会会場整備費、研修会
雑収入	52	49	52	受け取り利子など
前年度繰越金	4,655,881	4,655,881	3,991,358	
合計	10,050,933	10,111,930	9,264,410	

《支出の部》 (単位:円)

科 目 / 項 目	令和4年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度予算額	備考
本部会費	2,055,000	2,064,000	2,037,000	3,000円×679名 ※時限的減額対応(1,000円減額)
事務費	182,218	380,000	300,000	
通信費	165,740	160,000	170,000	ホームページ利用料、モバイル通信料、切手、宅配便など
消耗品費	3,848	200,000	90,000	事務用品費(封筒、インク、紙、ラベル)など
手数料	12,630	20,000	40,000	振込み手数料、硬貨料金など
会議費	449,511	910,000	870,000	
常任理事会・部会	435,741	780,000	720,000	常任理事会12回、三役会12回、学術委員会会議、監査2回など
地区代表者会議	13,770	80,000	100,000	年1回開催(対面方式又はハイブリット方式)
諸会議費	0	50,000	50,000	関連団体会議など
広報費	748,800	770,000	770,000	
ニュース印刷費	748,800	770,000	770,000	総会議案集、支部ニュース発行(年3回)・送料など
研修会費	440,484	650,000	650,000	
講師料・会場費	440,484	600,000	600,000	講師料、会場費(Web会議システム使用料)など
行動費	0	50,000	50,000	支部主催研修会等 講師交通費、日臨技生涯学習申請など
地区会等関係費	14,816	250,000	250,000	
行動費	14,816	100,000	100,000	各地区役員出席、学術委員講師派遣など
地区会活動補助金		150,000	150,000	地区会研修会講師料補助など
学会運営費	2,168,746	2,300,000	2,300,000	
事務費	1,992,560	2,000,000	2,000,000	学会抄録集作成、会場費(EventIn使用料・賃会議室使用料)、備品など
謝礼等	103,980	200,000	200,000	講師料、来賓謝礼など
行動費	72,206	100,000	100,000	
予備費	0	2,787,930	2,087,410	
合計	6,059,575	10,111,930	9,264,410	

令和 5 年 4 月 24 日

国立病院臨床検査技師協会関信支部
会 員 各 位

国立病院臨床検査技師協会
関信支部 役員推薦委員会
委員長 山 川 博 史
委 員 沼 田 ま す み
委 員 山 田 大 助

令和 5 年度役員の推薦について

当会の役員推薦規程に則り、当会の令和 5 年度役員を下記案の通り推薦いたします。
会員各位のご審議をお願いいたします。

記

1. 令和 5 年度 国立病院臨床検査技師協会関信支部役員（案）

支 部 長	吉田 茂久	（国立病院機構 横浜医療センター）	留任
副支部長	椎名 将昭	（国立病院機構 水戸医療センター）	留任
副支部長	齋藤 広樹	（国立病院機構 東長野病院）	留任
事務局長	白井 洋平	（国立病院機構 さいがた医療センター）	新任
理 事	秋山 卓思	（国立病院機構 横浜医療センター）	留任
理 事	飯田 伊織	（国立病院機構 西埼玉中央病院）	留任
理 事	井田 貴明	（国立病院機構 相模原病院）	留任
理 事	鷹取 有紀	（国立病院機構 高崎総合医療センター）	留任
理 事	竹内 智也	（国立病院機構 横浜医療センター）	留任
理 事	千木良 浩志	（国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院）	留任
理 事	中村 良幸	（国立病院機構 西新潟中央病院）	留任
理 事	人見 香奈	（国立病院機構 栃木医療センター）	新任
理 事	矢崎 裕一郎	（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）	新任
理 事	山口 卓哉	（国立病院機構 東京病院）	留任
理 事	渡辺 順也	（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院）	留任
相談役	前島 基志	（国立病院機構 霞ヶ浦医療センター）	留任
監 事	遠藤 隆	（国立病院機構 甲府病院）	新任
監 事	小沼 進吉	（国立病院機構 東埼玉病院）	留任

2. 令和 5 年度 国立病院臨床検査技師協会関信支部役員推薦委員（案）

役員推薦委員	新谷 和之	（国立病院機構 渋川医療センター）	新任
役員推薦委員	武山 茂	（国立病院機構 相模原病院）	新任
役員推薦委員	山川 博史	（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）	留任

以上